

みんなの夢の創造と実現のために……

星のゆめ

下松市観光協会
会報

vol.25

2013年12月16日発行

編集・発行 下松市観光協会 : 発行責任者 弘中佑児 TEL 0833-45-1841
URL <http://kankou.kudamatsu.info>

下松市観光協会
オリジナルタオル

下松市観光協会

ご当地グルメ くだまつ

くだまつ名物「五戸ひらめ」と解度抜群な海の幸。個性豊かなラーメン・中華そば、地元で人気のお勧めメニューも盛りだくさん。くだまつの味をぜひご堪能ください。

1 コーヒー
山崎珈琲店
大塚駅前3丁目13-13
TEL: 0833-43-9832
●営業時間: 9:30-18:00
●休: 休: 日: 月: 祭日

2 たこ焼き
たこの星
駅前1丁目1-10
TEL: 0833-44-5030
●営業時間: 11:30-21:00
●休: 休: 日: 祭日

3 とりの唐揚げ
廣華楼
大塚駅前2丁目
TEL: 0833-45-2144
●営業時間: 11:30-22:00
●休: 休: 日: 祭日

5 炸三糸揚げ (はるまき)
中国海鮮酒家 第一飯店
駅前1丁目2-29
TEL: 0833-41-2155
●営業時間: 11:30-22:00(17:30-22:00は要予約)
●休: 休: 日: 祭日

6 引きあげ海鮮とおぼろ豆腐
豆腐料理 奴
駅前2丁目10-30
TEL: 0833-41-0633
●営業時間: 17:30-22:00
●休: 休: 日: 祭日

7 特別メニューにぎり寿司
魚雅
駅前2丁目104-7
TEL: 0833-41-2910
●営業時間: 17:30-22:00
●休: 休: 日: 祭日

星ふるまじゅくだまつ

まふまふ

おすすめ!!
27島

下松市観光協会
会報
星のゆめ
特別号
H.25.11発行

味の堪能は、グルメ情報満載!!

新まんぷくまじゅくだまつ

下松市観光協会タオル完成

今年の下松市内の祭りやイベントは、ことごとく雨にたたられました。八月の笠戸島イカダまつりや妙見宮鷺頭寺の風鎮踊りは中止に追い込まれ、九月のくだまつ総踊りは肝心の総踊りを雨のため市民体育館に場所を移して開かざるを得ませんでした。四月の切戸川桜桜フェスタも雨でイベントが縮小されました。地域の祭りも雨に悩まされたケースが多い一年でした。しかしこのことから私たちが得たものも多かったと思います。まず連帯感。中止の対応は限られた人数でできるものではありません。考えようによっては天候に恵まれて普通にイベントをした時以上の労力と手間が必要だったでしょう。もう一つは次回への連携。次回は一層充実させようと思えば思うほど、みんなの連携が必要になります。そう思えば雨や荒天が私たちに与えたものは決して小さくないと思います。この一年、雨が私たちに与えた「連帯感」と「連携」を来年の下松の観光振興につなげていこうではありませんか。そう考えると、準備した祭りやイベントが雨ごときで吹き飛ばされた悔しさも、少しは癒える気がします。

(山上達也)



くだまつの情報発信!



スターナビの活動が 拡大中!



くだまつ観光・産業交流センターは、今年で5年目を迎え、今までよりさらに、活動の場を広げる年となりました。

例年の恒例事業となった笠戸島大城温泉花火クルーズや、歴史探訪ウォーク、そして昨年からは始まったKビジョンさんとのコラボ番組「スターナビ情報お届け便」やセンター内のイベントに加え、今年は新たに「下松フィルム・コミッション」を立ち上げました。活動内容については、次ページで紹介しております。

そして昨年、来巻にんにくを下松市の特産品にするために立ち上げた、特産品開発プロジェクトの一環として、5月には、下松市農業公園で、第1回来巻にんにく収穫祭を開催しました。この収穫祭では、徳山商工高校の生徒さんに依頼し作成した、「来巻にんにく姫」の絵本の披露をし、金井道子さんの協力で、下松市、光市、周南市に絵本を贈呈することができ、市内外の多くの方に来巻にんにくを知っていただ

くことができただけではないかと思えます。

また、昨年行った「来巻にんにく料理レシピ・特産品コンテスト」で受賞した、「にんにく味噌」「にんにくクッキー」「にんにくスープ」の3作品について、現在商品化に向けて色々と活動しているところです。

下松市といえば、「来巻にんにく」といわれるような、新たな下松市の特産品を作りたいと考えています。

また、自然豊かな笠戸島を多くの方に知って頂くために、下松市の委託を受けて笠戸島音頭を作成中です。11月には歌詞を下松市民の方から募集しました。これから曲と踊りをつけて、みなさまにお披露目する予定です。

さらに、3月には、笠戸島でのウォーキング大会を現在計画中です。笠戸島に多くの方に来ていただき、笠戸島の美しい景観をぜひ体感して頂きたいと思えます。

このように、特産品開発や、下松フィルム・コミッションの活動、笠戸島の観光地としての開発などを進めていき、下松市が今後さらなる発展をしていけるように、頑張っていきたいと思っております。

今後もくだまつ観光・産業交流センターをよろしくお願いいたします。



収穫祭絵本贈呈



収穫祭にんにく皮むき大会

下松の歴史・文化を再発見しその魅力を広く発信中!

下松市観光ボランティアガイドの会は、下松の素晴らしい歴史、文化、自然を再発見し、その魅力を広く伝える事により、下松市の活性化のお役に立ちたいとの願いから発足し、今年で4年目の活動を実施中です。

今年初めての試みとして、江戸時代お殿様の巡視用として作成された「御国廻御行程記」より山口県文書館の許可のもと久保～花岡間の古地図を作成し、旧山陽道をウォーキングする行事を実施(5月)しました。40名以上の参加者を得て、大変喜ばれました。

また今年も、これまで実施出来ていない大藤谷・温見地区(10月)や来巻地区(2月予定)の歴史ウォーキングを実施する事で、下松市内一通りの歴史ウォーキングコースの設定をする事が出来ました。

1月には山口朝日放送の「古地図片手にまち歩き」の番組で2日間に亘って花岡地区の歴史と文化をガイドさせて頂くことで、県内に広く花岡地区の魅力を発信する事ができました。

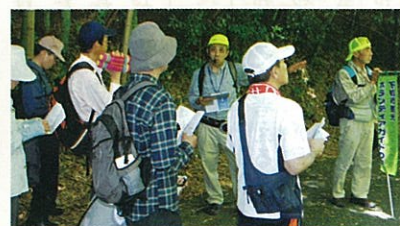
更に今年もくだまつ観光・産業交流センターと一緒にKビジョンの「くだまつ歴史探訪」の番組で、月替わりで下松市内の歴史と文化を紹介しています。会員には番組を見て頂いた市民から、地元にながらこれまで知らなかった歴史が勉強できたと声をかけられる事も多く、会員の活動の励みにもなっています。

今後もこれまでの活動成果を含め、新しい要素を加えながら活動の深化に努めたいと思えますので、皆様のご支援をお願いいたします。

下松市観光ボランティアガイドの会 会長 吉岡 清



歴史探訪撮影風景



古地図山陽道

映像で下松の魅力広めます！

下松フィルム・コミッション事務局



下松フィルム・コミッションは、ザ・モール周南星プラザ3階にあるくだまつ観光・産業交流センター内に事務局を置き、今年の6月に発足しました。フィルム・コミッションとは、映画やドラマ、CMといった映像を通して地域の魅力を全国に発信するための取り組みです。

下松には、笠戸島に代表される美しい瀬戸内海や日本の里100選にも選ばれた米川東部地区といった自然豊かな風景、きつねの嫁入りのような全国に誇る文化・風習があります。

これらを映画やドラマなどの映像制作に使用していただくため、映像制作者にむけて下松のロケーションを紹介し、撮影を誘致しようとしています。

いざ撮影がされると決まれば、宿泊先の手配や道路使用許可などの諸手続きの代行など、さまざまな撮影の支援を行います。

ブルース・オズボーンさん「OYAKO」映画制作のため下松訪問

7月にはアメリカ人写真家のブルース・オズボーンさん達が、映画「OYAKO」の制作のために下松を訪れました。映画「OYAKO」は、「親子の日推進普及委員会」の10周年記念企画で、7月第4日曜日を親子の日として普及させるため活動し

ている「親子の日推進普及委員会」の発足人であるブルース・オズボーンさんの軌跡を描いた映画です。下松の親子を写真撮影するという事で、下松フィルム・コミッションでは、山下工業所の山下さん親子や法静寺の見山さん親子、ポートルサーの佐々木さん親子など九組の親子を紹介し、その親子と下松の魅力を伝えるにふさわしいロケーションをセッティングしました。

また撮影の合間に笠戸島の深浦地区や米川の棚田など、下松の魅力を伝えられるロケーションを案内しました。親子写真の撮影を行うブルース・オズボーンさんを撮影するために来ていた映像監督のイノマタトシさんは笠戸島の風景や下松の親子にインスピレーションを得られたようで、映画「OYAKO」のドラマ部門の撮影が下松で行われることが決まりました。

笠戸島中心に撮影

撮影は、8月に笠戸島を中心に市内各所で行われました。イノマタ監督の希望により出演者の多くが下松市民となり、下松フィルム・コミッションでは出演の交渉やスケジュールの調整を行いました。また撮影許可や道路使用許可の代行、ボランティアスタッフやエキストラの手配などを行い、一般的なフィルム・コミッションの活動の枠を越えて、小道具の作成や休校中の

深浦中学校を稼働している小学校に見せるための美術など、制作スタッフとしても撮影に協力しました。

雨天によるスケジュールの変更などを含みつつも、多くの方の協力を得て無事に撮影を終えることができました。映像制作者の方々から、これまでで一番楽しい撮影だった」と言っていたいただきました。一部が下松市内で撮影されました映画「OYAKO」の公開は2014年の春を予定しています。

撮影の支援を行う中で、私自身、下松の魅力を再発見することがありました。末武川や花岡の街並みなどの私からすれば見慣れている、目に止めていなかった風景に東京の撮影スタッフは魅力を見出して、カメラをまわしていました。フィルム・コミッションには、外の目を入れることによって、新たな観光資源を発掘する働きもあるということを感じました。

また東京から来られた撮影スタッフの仕事の間近で見られたことは大変興味深かったです。映像制作の最前線で働く方に下松に来ていただくということは、下松の映像産業の発展を促すことにもなると感じました。

新たな観光資源を発掘することや下松の映像産業の発展のために、これから多くの撮影を誘致していきたいと考えています。下松に対する理解をさらに深め、下松の良さを全国に、世界に発信できるように頑張っていきますので、これからも下松フィルム・コミッションをよろしくお願いたします。



映画「OYAKO」の市内での撮影を市長に報告



映画「OYAKO」山下工業所での撮影

平成25年度 年間行事

4/7
桜川
フェスタ



笠戸島の夏の夜を彩る「大城温泉花火大会」！当初は、大城温泉オープン記念として冬に行われていましたが、現在は、夏の風物詩として、盛大に開催しています。花火大会の当日は、国民宿舎大城で、夕方5時から飲食などの模擬店、ステージイベントが開催され、花火の打ち上げ前から会場は大いに盛り上がっています。花火は夜8時から始まり、打上数は約1,600発で約30分間、大輪の花火が夜空を彩り、楽しめるようになっています。この花火大会は、国民宿舎大城下の海上から打上げる為、大城から見る花火は、ちょうど目の高さに見え、花火との距離が近く感じる事から、ダイナミックな花火を体感できるのが特徴です。

8/1
大城温泉
花火大会

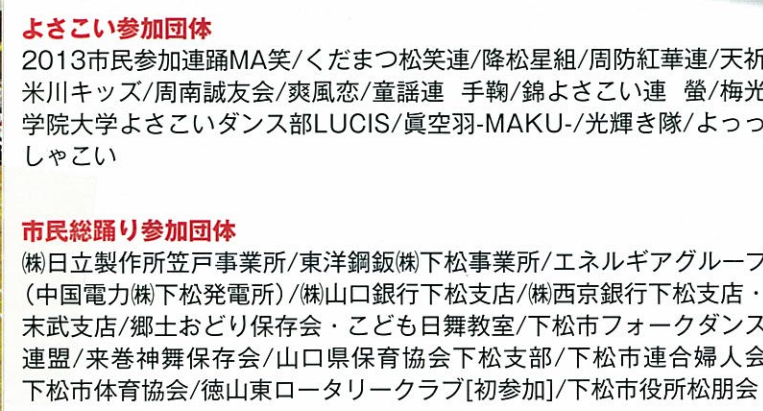


8/3
くだまつ
夏祭り

10/29
ひらめ等
魚介類
供養祭



11/3
稲穂まつり



元気づくり くだまつ総踊り2013

9月28日(日) 15時30分～19時45分

- 下松市中央町 下松タウンセンター(ザ・モール周南)中央広場周辺
- 下松市市民体育館

主催 くだまつ総踊り実行委員会
後援 下松市、下松市教育委員会、
下松市民憲章推進協議会
協力 ザ・モール周南まちづくり委員会
写真提供 江口 雄司

よさこい参加団体
2013市民参加連踊MA笑/くだまつ松笑連/降松星組/周防紅華連/天祈米川キッズ/周南誠友会/爽風恋/童謡連 手鞠/錦よさこい連 螢/梅光学院大学よさこいダンス部LUCIS/真空羽-MAKU-/光輝き隊/よっつしゃこい

市民総踊り参加団体
(株)日立製作所笠戸事業所/東洋鋼板(株)下松事業所/エネルギーグループ(中国電力(株)下松発電所)/(株)山口銀行下松支店/(株)西京銀行下松支店・末武支店/郷土おどり保存会・こども日舞教室/下松市フォークダンス連盟/来巻神舞保存会/山口県保育協会下松支部/下松市連合婦人会 下松市体育協会/徳山東ロータリークラブ[初参加]/下松市役所松朋会

MEMBERS'S INTRODUCTION
会員紹介
下松商工会議所青年部
 下松市新川二丁目1-38 TEL 0833 (41) 1070
 URL <http://www.kvision.ne.jp/~k-yeg/>

下松商工会議所青年部は、「地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い、次代への先導者としての責任を自覚し、地域の経済的発展の支えとなり、新しい文化的創造をもつて、豊かであり、新しい郷土づくりに貢献する」ことを目的として日々活動をしています。

毎月1回の例会では、会員相互の交流としてのディスカッションや、自己研鑽としての講師を招いた講演会、会員同士の勉強会、親睦を兼ねたレクリエーションなどを行っています。

また、事業としては、8月の「笠戸島イカダまつり」と11月の「ふるさと定住イベント」を青年部が主管として運営しています。この2つのイベントは、市内の企業をはじめ多くの方々のご協力により、毎年市内外より多数の参加者で盛

り上がっています。他にも、切戸川桜祭りフェスタ、くだまつ夏祭りなどに出席して、少しでも地元活性に繋がるようにとの思いで活動を行っています。

10月には新しい試みとして「ウォーク&フォト」という下松市を再発見できるようなイベントを開催しました。これからもっと多くの方々に参加してもらい、下松市の魅力をどんどんPRしていくように続けていきたいと考えています。

今後下松市を盛り上げていくように活動していきます。



三池孝尚の旅は道づれ

毎年、寒くなれば、スキーに出かけているが、地球温暖化のためか？ 年々雪が降らなくなってきた。スキー板を初めて履いたのは、高校3年の冬、花岡八幡様の裏山の林道だった。積雪は10cmもあった。友人の父親のスキー板を持ち出して、学校をさぼって2人で転んだものだ。あれから50年、仲間たちは年と共にスキーに行かなくなったが、私は何とか

相棒を見つけて、広島県の恐羅漢スキー場に通っている。5年前から2月の末、友人と雪の多い新潟県の妙高高原に高速道を800km走って、白馬八方や志賀高原で一週間楽しんでいる。その妙高スキー場は、日本で最初にスキーを伝えたオーストリアのレヒル少佐のゲレンデだった。そのレヒル少佐を招いたのが我が町の長岡外史中将、当時の陸軍の師団長だ。100年も前の話。最初に妙高に出かけるきっかけは、千葉県出身の写真家、星野道夫の友人が妙高山の噴火の犠

MEMBERS'S INTRODUCTION
会員紹介
(株)新周南新聞社
 周南市栗屋二葉屋開作1035-18 TEL 0834(26)0303
 URL <http://www.ccsnet.ne.jp/~nikkans/>

(株)新周南新聞社は昭和60年に設立されました。徳山市と新南陽市の地方紙だった「徳山公論」を「日刊新周南」に改題して、取材エリアを下松市、光市にも広げて、周南地域を代表する地方紙になりました。

日刊新周南は土、日曜や祝日を除く毎日発行し、下松市、周南市、光市の行政や経済、事件や事故、イベントなど地域情報を細かくお伝えしています。その根底は暮らしを豊かにするキーワード「ヒトとモノとカネを動かす」という考え方です。

購読料は月額2300円、年払いだと2万3000円で2ヶ月分もお得です。広告や折込みチラシのご用命も賜ります。店頭などで無料配布している情報誌「MIRRA」も発行しています。飲食業、美容などさまざまな分野のお店を紹介し、食事券や図書カードが当たるスクラッチカー

牲になった縁で写真家になったことを知り、その妙高山をスケッチしたくて調べると、何と雪が4mも積もると聞き、これはスキーだ。と通ううちに、隣のゲレンデがレヒルのゲレンデだと知り、その縁の不思議さに感動し、夢中で通い始めている。

ときどき、笠戸島の外史公園に出かけて、故岡田観光協会会長のお世話で、ひげの殿下やオーストリア大使を招いて、盛大に除幕式をやったことを懐かしく思い出している。

編集後記

「季節を大切にしたい」観光産業にかかわる者は皆そう思っています。しかしながら年々四季がはっきりしない国になってきています。今年の我々のイベントは、ほとんど天候不順にみまわれ残念な思いを味わいました。季節の移ろいととも自然を楽しむ、そんなあたりまえの風景が続くよう毎日の生活そのものをお互に見つめなおす必要を強く感じた年でした。

でも好評です。ケーブルテレビの番組制作も手がけています。大好評の釣り番組「バレたらあかばん!!」や音楽番組「SOUND VIEW ばんび」や報道番組の「キャッチアップ周南」を制作してKビジョンやCCSで放映中です。結婚式などのビデオ撮影や司会者派遣もお任せ下さい。

さらに印刷や出版、徳山動物園の缶バッジなど周南ブランド商品の制作や販売にも取り組んでいます。新周南杯ミニバスケットボール交歓会、サンデー早朝野球大会、周南映画祭など地域の行事を主催、後援し、文化やまちづくり活動を応援しています。下松市内でも笠戸島イカダまつり、笑顔の写真コンテスト、ふるさと定住イベントなど多くの行事を後援しています。

まさに私たちは下松市を含むオール周南の「応援団」の意気込みです。そんな新周南新聞社をどうかご愛顧ください。

